



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月31日

上場会社名 セブン工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7896 URL <http://www.seven-gr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 正義 TEL 0574-28-7800
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,971	1.4	320	24.2	308	26.2	256	76.4
2019年3月期第3四半期	10,819	3.6	257	△7.6	244	△7.1	145	△23.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	172.19	—
2019年3月期第3四半期	97.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,420	6,473	56.7
2019年3月期	11,871	6,285	52.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,473百万円 2019年3月期 6,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	25.00	—		
2020年3月期 (予想)				20.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	2.5	390	3.0	370	1.7	320	36.5	214.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,557,750株	2019年3月期	1,557,750株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	69,052株	2019年3月期	68,860株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,488,842株	2019年3月期3Q	1,489,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、堅調な企業業績や雇用環境の良化が続いているものの、米中貿易摩擦に端を発した中国経済の減速や、不安定な中東情勢の影響等で不透明な状況で推移いたしました。

住宅関連業界においては、消費税増税の反動等もあり、分譲住宅は増加傾向に推移したものの、不動産投資の不正融資などを発端とした貸家の低迷の顕在化及び持家も前年同四半期を下回る状況が見られるなど弱含みで推移いたしました。

新設住宅着工戸数の減少や市場の競争激化に対応するため、非住宅向けの製品開発、国産材の活用、省施工製品の拡充、物流コストの低減といった事業運営の変革を図っているなか、引き続き「変化」「連携」をスローガンに掲げるとともに企業ブランドの向上を図るため、新たに「発信」をテーマに加え、3つのスローガンのもと「成果実現」に資する施策を講じております。

内装建材事業においては、省施工階段（エコプレ）における生産体制の増強、デザイン階段であるワンビームに加え、当事業年度より新たに販売を開始した「ツービーム」といったオリジナル製品の拡充など階段のシェア拡大を図っております。カウンターについては、多様化する生活空間、省施工を背景としたニーズの高まりを受け、更なる事業の強化を図り、また、収納製品への展開など周辺アイテムの充実化、用途の拡大に努めてまいりました。こうしたきめ細かな顧客ニーズへの対応が奏功し、主力製品である階段、カウンターとも安定した受注が維持できたこともあり、売上高、利益とも好調に推移いたしました。

木構造建材事業においては、プレカット・パネル・建装事業が一体となった事業運営を推進しているなか、各々の事業の特性による相乗効果を発揮し、総合プレカット事業としての体制強化に努めております。プレカットについては、地場ビルダー及び非住宅分野における営業強化に努めてきたことや新規の取り組みであるログハウス加工、また大型汎用加工設備による物件加工の受注増加も寄与し、好調に推移いたしました。パネルについては貸家の需要低迷を背景に賃貸物件の減少の影響が大きかったこと、また建装事業は当初見込んでいた建築物の受注の延期等が続いたことで計画を下回る結果となりました。しかし、木構造建材事業の一体化の取り組みを推進しているなか、プレカットを核としたシナジーが発揮できる施策を講じてきたことにより、事業部全体としては堅調な事業運営となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、109億71百万円と前年同四半期と比較し、1億52百万円（1.4%）の増収となりました。利益面では、営業利益3億20百万円と前年同四半期と比較し、62百万円（24.2%）の増益、経常利益は3億8百万円と前年同四半期と比較し、64百万円（26.2%）の増益となりました。また、四半期純利益は2億56百万円と前年同四半期と比較し、1億11百万円（76.4%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、114億20百万円となり、前事業年度末と比べ4億50百万円（△3.8%）の減少となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの、売上債権等の減少によるものであります。

負債につきましては、49億47百万円となり、前事業年度末と比べ6億39百万円（△11.4%）の減少となりました。これは主に長期・短期借入金及び仕入債務等の減少によるものであります。

純資産につきましては、64億73百万円となり、前事業年度末と比べ1億88百万円（3.0%）の増加となりました。これは主に配当金の実施があったものの、四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末と比べ3.8ポイント増加の56.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年10月24日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784	794
受取手形及び売掛金	3,174	2,928
電子記録債権	1,678	1,635
商品及び製品	276	280
仕掛品	354	377
原材料及び貯蔵品	660	693
その他	170	95
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	7,093	6,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	855	828
土地	2,853	2,813
その他(純額)	547	529
有形固定資産合計	4,256	4,172
無形固定資産		
	122	96
投資その他の資産		
前払年金費用	206	175
その他	192	174
投資その他の資産合計	398	350
固定資産合計	4,777	4,619
資産合計	11,871	11,420
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,696	1,450
電子記録債務	639	815
短期借入金	750	350
1年内返済予定の長期借入金	495	461
未払法人税等	57	17
賞与引当金	130	65
その他	560	592
流動負債合計	4,329	3,752
固定負債		
長期借入金	1,159	1,100
役員退職慰労引当金	56	62
資産除去債務	3	3
その他	38	28
固定負債合計	1,256	1,194
負債合計	5,586	4,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	1,378	1,568
自己株式	△243	△243
株主資本合計	6,284	6,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	6,285	6,473
負債純資産合計	11,871	11,420

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,819	10,971
売上原価	9,090	9,102
売上総利益	1,729	1,869
販売費及び一般管理費	1,471	1,549
営業利益	257	320
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取手数料	1	2
スクラップ売却益	0	0
資材売却益	1	1
その他	0	1
営業外収益合計	4	4
営業外費用		
支払利息	10	8
売上割引	6	7
その他	0	0
営業外費用合計	17	16
経常利益	244	308
特別利益		
固定資産売却益	0	10
受取損害賠償金	—	3
特別利益合計	0	13
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	10
P C B 処理費用	0	—
減損損失	—	3
特別損失合計	1	14
税引前四半期純利益	243	308
法人税、住民税及び事業税	23	29
法人税等調整額	74	21
法人税等合計	98	51
四半期純利益	145	256

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。